



受験（今年度と来年度の変更点）

いよいよ三年生が、高校入試へ向けた「願書」を書きました。県立高校（全自治）の今後の流れは以下のとおりです。

〈前期選抜の場合〉

- ・検査（入試） ……2月1日
- ・合格者発表 ……2月8日

〈後期選抜の場合〉

- ・検査（入試） ……3月6・7日
- ・合格者発表 ……3月15日

多くの生徒が、人生最初の「受験」ですので、保護者の皆さんとしっかり支えていけたらと思います。よろしくお願ひします。

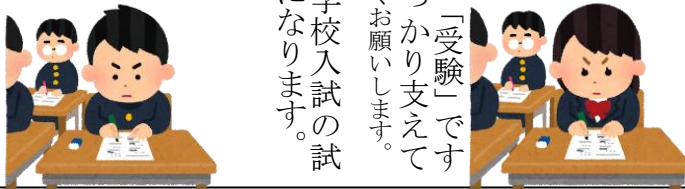
ところで、来年度の県立学校入試の試験日と発表日は、次のようになります。

〈特別選抜の場合〉

- ・検査（入試） ……1月28日
- ・合格者発表 ……1月31日

〈一般選抜の場合〉

- ・検査（入試） ……2月18・19日
- ・合格者発表 ……3月5日



現二年生は来年度、全体的に早い日程で進みます。出題内容も「探求的問題を約20%出題する」との報道もありました。変化する社会に対応するために、柔軟に、そして探求的に学んでおくことが求められています。このことを踏まえて準備を進めていきたいと思います。

生徒たちの話す姿に感動

三年生の出席番号一番から始めた校長面談は、二年生へと進んでいます。

自分の将来の夢や希望、今、頑張っていることを話す生徒たちの様子を目の前で見て、毎日感動しています。特に「この子が！」とびつくりするほどに深い想いを語ったり、未来への構想をよく調べていたり、オッ！と驚く特技を見せたり…。そんな時は職員室に行つて、「あの生徒にこんな才能がありましたよ！」と、誰彼構わず話しています。先日は、パソコンのパワーポイント（プレゼンソフト）を今まで見た生徒の中で一番に使いこなしていました。ほかに、韓国語を（片言ではありますが）話せる生徒がいます。箱根駅伝を目指している生徒もいます。「人権活動家に感化された」と輝く笑顔で話す生徒がいます。AIを憂う生徒とは「使いこなす力が必要だね」という話をしました。それから「入試への不安」や「自分のクラスや家族への想い」などが垣間見える瞬間もあります。保護者の方々にも見せたいなーと心から思っています。



この面談を通じて改めて生徒たちの中には、可能性や魅力、才能などがもっとたくさん秘められている！と感じています。それらをもっと自由に表に出せる、出して伸ばせる、そんな友達を心から応援する、励まし合って高め合う。そのような学校を作っていきたいと思えます。年が明けたら一年生の面談です。楽しみ！

〈コラム 港町ブルース〉

「評価」

手前みそではありませんが…。本校の取組をまとめて出した研究論文が先日、「優秀賞」に選出とのお知らせをいただきました。全国から集まった中での最高の賞です。内容はキャリア教育で、生徒たちの取組の様子を織り交せて、「がんばっていること」をまとめました。素直に学ぶ生徒たちとこの子たちを育てられた保護者や地域の皆様、そして本校職員の取組が認められたと心から嬉しく思いました。

評価と言えば、他に学校評価（保護者と生徒）、概ね良い評価をいただきましたが、反省すべき点も御指摘いただいていますので猛省して改善します。

「評価は、受けた後が大事」

「真の教育改革は自己改革だ」（論文の最後に記した言葉を胸に刻み、さらに充実した学校になるよう、取り組んでいきます。



《 主な行事予定 》

- 〈12月〉
- 22日（金）終業式（給食あり）、生徒会役員任命式
- 23日（土）南島原市イッパ・リッパ・七ヶ丘まつり
- 〈1月〉
- 9日（火）始業式（給食あり）、実力テスト（3年）～10日
- 10日（水）市学力テスト（1・2年）
- 11日（木）専門委員長・学級委員任命式、生徒会役員引継ぎ式
- 12日（金）県教委指定研究「ふるさと学」中間発表（会場：口之津公民館）
- 15（月）～私立高等の入試はじまる

《心に響いた言葉》「私は、あつていい違いとあつてはいけない違いがあり、あつていい違いを大切にしていきたいと思いました。他にも、知らないうちに偏見で周りの人に嫌な気持ちをさせていないかなと考えるきっかけになりました。」人権集会の感想から



シリーズ「教育を取り巻く社会の動向」

長崎県教育振興基本計画から

〈第九回〉

持続可能な社会

下のマークはどこかで見たかと思えます。今、地球上で課題となっている17の項目と取組を表しています。本県の教育振興基本計画には、次のように記されています。



世界には、環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。持続可能な開発のためには、地球規模の課題を自分のこととして捉え、その解決に向けて自分で考え、行動を起こす力を身に付けることが重要です。

「貧困」「飢餓」「健康・福祉」「教育」「ジェンダー」「安全」「エネルギー」「仕事」「産業と技術」「不平等」「まちづくり」「責任」「気象」「海」「緑」「平和」「連携」の17を、みんなで考えて一歩でも前に進もうという取組です。

今は、地球の裏側のことも、全世界的に影響を受ける時代です。地球は一つしかないのです、みんなで取り組むことが必要不可欠となっています。

南島原市の生徒会が一斉に取り組んでいるエコキャップ運動も、その一つです。

〈そこで、中学校（本校）では〉

学習指導要領では、このSDGS運動を踏まえた学校での取組が示されています。

〈学校で育みたい力〉

- ・ **持続可能な開発に関する価値観**
(人間の尊重、多様性の尊重、非排他性、環境の尊重等)
- ・ **体系的な思考力**
(問題や現象の背景の理解、多面的かつ総合的なものの見方)
- ・ **代替案の思考力**
(批判力)
- ・ **データや情報の分析能力**
- ・ **コミュニケーション能力**
- ・ **リーダーシップ**

「世界平和」というような壮大な事の前に「いじめをしない」とか「ゴミを捨つ」というような、身近なことを関連付けて、いかに自分事として考えることができるかが問われています。その視点から教科の授業や行事などを、SDGSを踏まえて行うことも効果的と考えられています。掃除当番も給食当番も同様に、課題意識をもって取り組めば全てがつながります。案外身近なところによれることはありそうだという構想をもってできることを一歩ずつ、少しでも住みよい未来を創るために進んでいきたいと思えます。



ふるさとの文化・歴史・人物——口之津中教育の視点から

「行動範囲」は心が決める

地方（このまち）のことを「不便だ」「楽しむものがない」という話を聞くことがあります。そうでもないんじゃない？と思う私は、最近、ふるさと教育を進めている手前もあって「週末お出かけリスト」なるものを作り始めました。「早崎へおいしいコーヒーを飲みに行く」という町内版から「野田浜でサップを楽しむ」や「中体連大会を見に行く」という市内版。広げて県内版、国内版となると、東京デイズニールランドも射程圏内（！）です。こうやってリストはすでに50コースを超えました。「年に一回、家族で海外旅行に行くために一所懸命に働いている」と言われる方も市内にはいらっしゃいます。

心を閉じ込めない

何気ない「木漏れ日」さえも幸せを感じるような心を持つ主人公を演じて、カンヌ国際映画祭で男優賞を受賞された役所広司さんの記事が先日、新聞に載っていました。ふるさとへの想いが深い方だなあと記事を読みながら思いました。今度の週末、映画を見に行こうかな。



【お礼】

本年中は、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、まことにありがとうございました。来年は辰年でさらに上り調子になればと思いつつ、足元もしっかり固めながら生徒たちと向き合って、彼らが健やかに育ち、確かな力をつけることができるよう精進していきたいと思えます。

みなさま、よいお年を。